

令和2年度事業計画

I 基本方針

我が国の高齢化の状況は、令和元年版高齢社会白書によると平成30年10月1日現在の総人口が1億2,644万人で、65歳以上人口は、3,558万人となり高齢化率は28.1%となった。

また、総人口は長期の人口減少過程に入っており、令和47年には8,808万人になると推計されている。一方、高齢化率は上昇を続け、令和47年には38.4%に達して国民の約2.6人に1人が65歳以上の者となる社会が到来すると推計されています。

こうした中、国は、シルバー人材センターを活用する高齢者が人手不足の悩みを抱える企業を支えるため、シルバー人材センターにおけるマッチングの機能強化の推進等高齢者の就業機会の促進を図るとしております。さらに、平成28年より、都道府県知事が業種・職種及び地域を指定した場合に限り、派遣及び職業紹介の働き方において就業時間の緩和が可能となり、静岡県でも平成30年より小売業や保育・介護の分野を対象に指定されております。

このように、生涯現役社会を実現するため、働きたいと願う高齢者の就業率を高めていくことが重要であり、この担い手であるシルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものになっています。

こうした中、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会が平成29年度に策定した、「第2次会員100万人達成計画」も3年目の中間目標の年となります。しかしながら、当センターの会員数は平成23年をピークに減少を続けており、全国シルバー人材センター事業協会が示した中間目標会員数にはかなりの隔たりがあり、大変危惧しているところであります。したがって今後は、役

職員及び会員が目標達成に向けて一丸となり活動していかなければなりません。

一方、事業収入は平成28年度から右肩上がり推移しており、特に派遣事業の実績は平成26年度の事業開始以来、5年連続で増加しています。

この傾向を今後も発展、継続するためにシルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神に基づき、請負・委任事業については、新たな分野への就業開拓に努めます。また、多様化する会員のニーズに応えるため、派遣事業へも積極的に取り組み就業機会の創出を推進し、魅力あるセンターづくりに努めます。

本年度も前年度の取り組みを踏まえつつ、地域社会に貢献し期待に応えられるセンターを目指し、会員・役職員が一体となって積極的な事業の推進をしてまいります。

II 重点項目

- 1 組織体制の増強
- 2 普及啓発活動、就業機会の拡大
- 3 安全就業対策の推進
- 4 調査研究活動
- 5 社会奉仕活動

Ⅲ 事業実施計画

1 組織体制の増強

- (1) 会員・役職員による口コミや紹介制度等による会員募集を実施し、新規会員の加入促進を図る。
- (2) 会員の技術習得のための各種講習会、研修会を実施する。また、新規会員の加入促進を図るため、一般市民を対象とした講習会を開催する。
- (3) 理事会、各委員会の活性化及び連携により、組織強化を図る。
- (4) 会員相互の親睦が図れるよう、会員主体の組織活動を推進し、魅力あるセンター作りに努める。

2 普及啓発活動、就業機会の拡大

- (1) 広報誌「シルバーこさい」の定期発行やインターネットを活用する60代、70代が増加傾向にあるのでホームページでの情報発信も積極的に行う。
また、商業施設等でのチラシ配りを定期的に変更したり、各種イベントへの参画、市の広報誌への記事掲載、公共施設等へのチラシの配架等普及啓発に努める。
- (2) 平成31年度に新規事業として開始した、墓守サービス、空き家見守りサービス、買物代行サービスをさらに推進し就業機会の拡大に努める。
- (3) 就業機会の拡大のために、労働者派遣事業・有料職業紹介事業を推進する。
- (4) 関係機関と連携し、センターが受注できる事業の調査・研究をし、就業開拓を行う。
- (5) 市が実施する介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）の受託事業者となり、女性会員の就業機会の創出に努める。

3 安全就業対策の推進

(1) 安全・適正就業委員会を中心として安全パトロールを実施し、就業中の事故防止と安全の重要性についての啓発に努める。

(2) 交通安全講習会を開催し交通事故防止に努める。

4 調査研究活動

公益社団法人静岡県シルバー人材センター連合会及び近隣のシルバー人材センターとの連携・情報交換、先進事例の視察を行い、会員の増強や財政基盤の確立等センター運営に必要な調査、研究を推進する。

5 社会奉仕活動

地域への日頃の感謝と公益法人として社会貢献のため、また、シルバー人材センターの認知度向上のため、市内の公共施設及び周辺において奉仕活動を実施する。